

海岸に流れ着くごみを減らしていくために私たちにできること

① 海や川にごみを捨てないようにしよう！



- ポイ捨てしない。
- ゴミ袋を持参する。
- マイはし・マイコップを持参し、ごみの排出を少なくする。

② ごみの流出を防止しよう！



- 草刈り後の草は放置せず、きちんと処理する。
- 自分たちのごみが流出しないように、しっかり維持・管理する。
- 生活ごみを減らすよう3R（発生抑制・再使用・再生利用）につとめる。

③ 海岸や河川の清掃イベントに参加しよう！



- 漂着ごみが発生してしまったら、県や市町村、地域が主催する美化活動や清掃活動に参加する。



「みんなできれいにせんまいけ大作戦」
毎年6月から9月には、海や川、山や街の清掃活動が県内の各市町村で行われます。みんなも是非参加してみよう！

富山県内の 海岸に流れ着くごみを 減らしていくために

～海岸漂着物発生状況調査結果～

富山県内の海岸に流れ着くごみを減らしていくために ～海岸漂着物発生状況調査結果～

発行／富山県 生活環境文化部 環境政策課

[住所] 〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 [TEL] 076-444-3140

[URL] (富山県環境政策課) http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1705/



富山県内の海岸漂着物の現状

■海岸漂着物（漂着ごみ）とは
漂着ごみは、富山県のほぼ全域に流れ着いており、海に流れ込んだプラスチック、発泡スチロールなどの人工物や、ヨシ・アシ類、流木などの自然物があります。



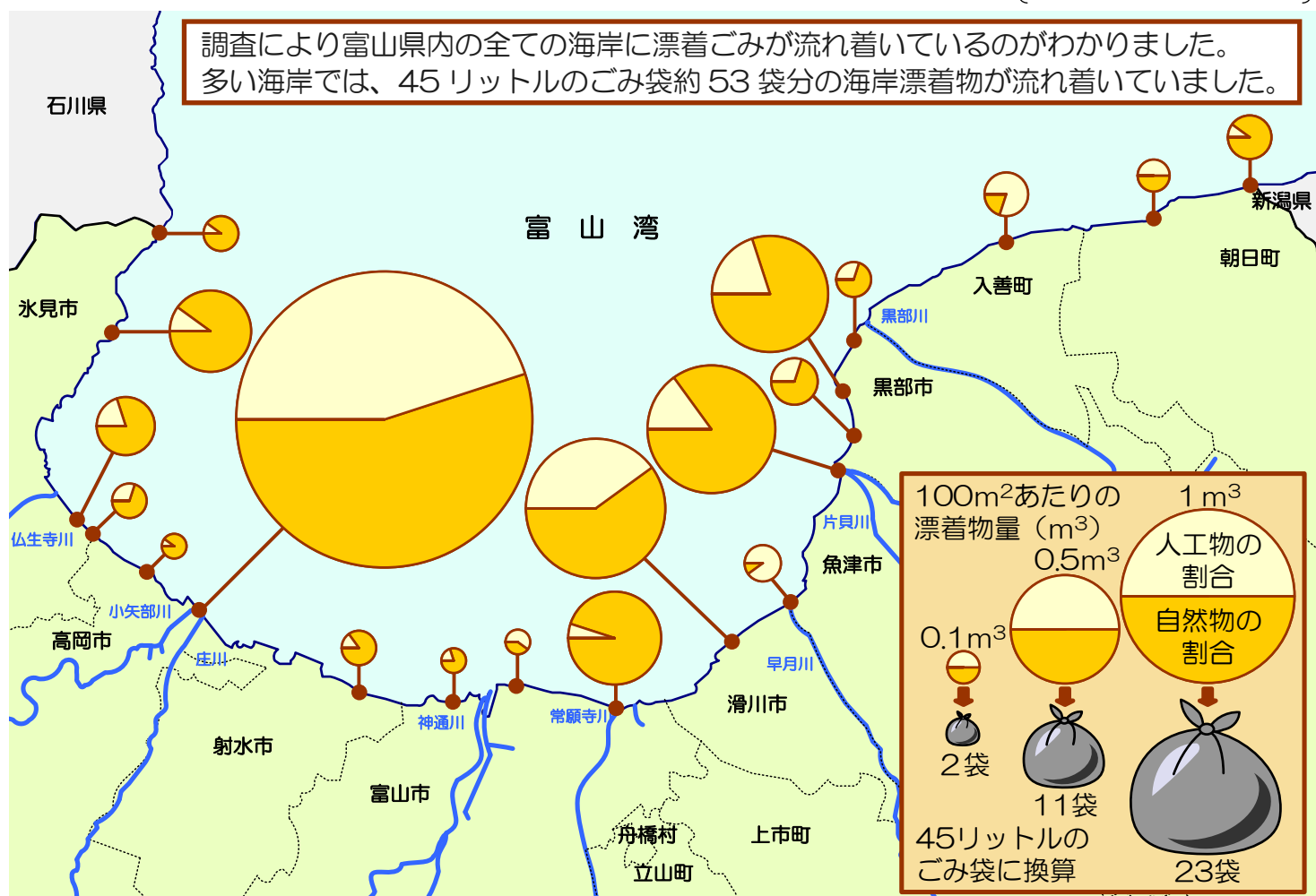
■漂着ごみの影響
漂着ごみによって、美しい海本来の景観を損なったり、漁業や海運の妨げとなったり、海岸の安全な利用を妨げたりしており、また、海洋生物への影響等も懸念されています。



調査1 富山県の海岸に漂着しているごみの量は？

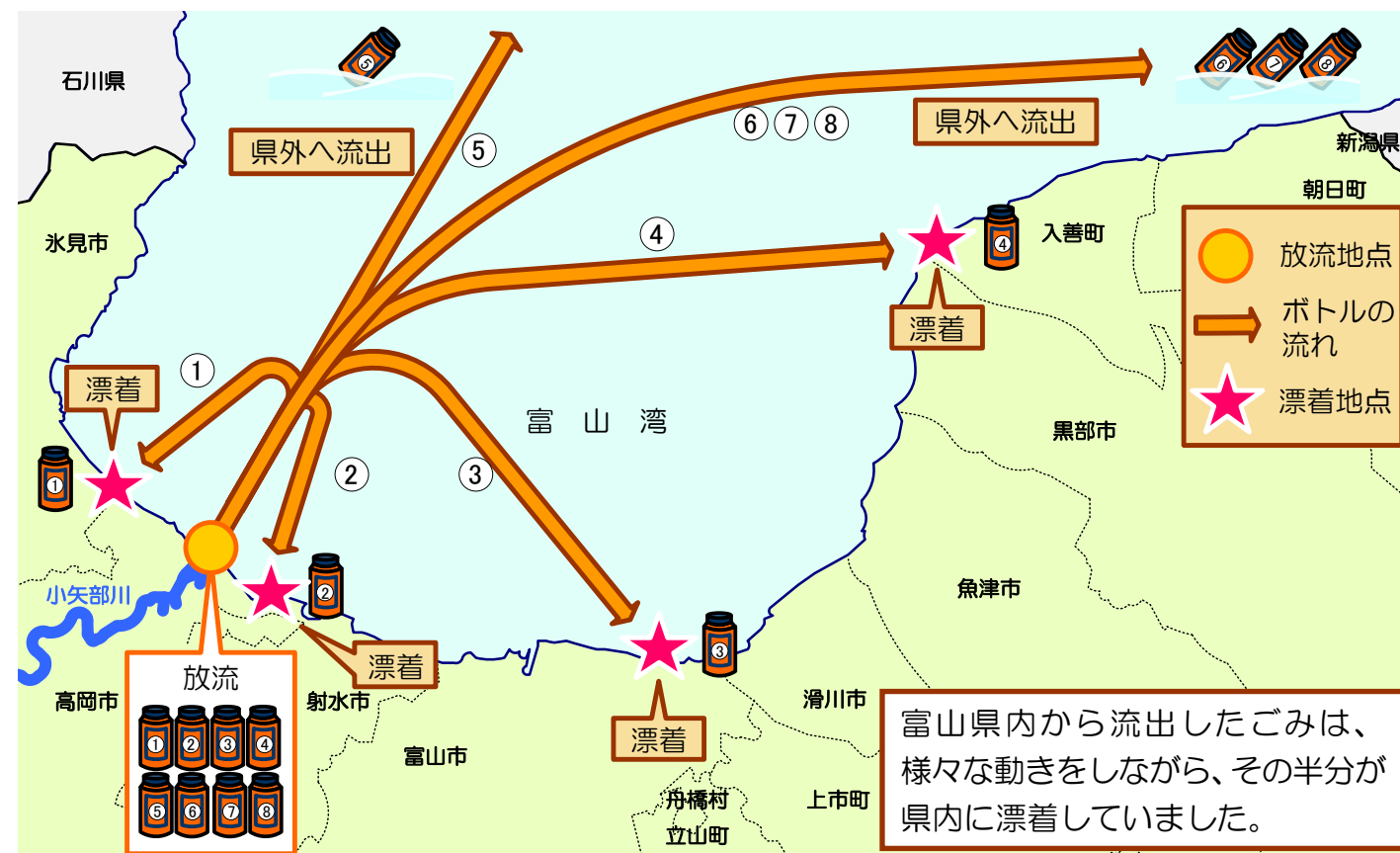
【調査概要】 富山県内の代表的な海岸において、縦横 10m の枠の中の漂着ごみの量と種類（人工物・自然物）を調査しました。
（調査海岸：県内全域の 55 海岸）
（調査期間：平成 24 年 3 月）

調査により富山県内の全ての海岸に漂着ごみが流れ着いているのわかりました。
多い海岸では、45 リットルのごみ袋約 53 袋分の海岸漂着物が流れ着いていました。



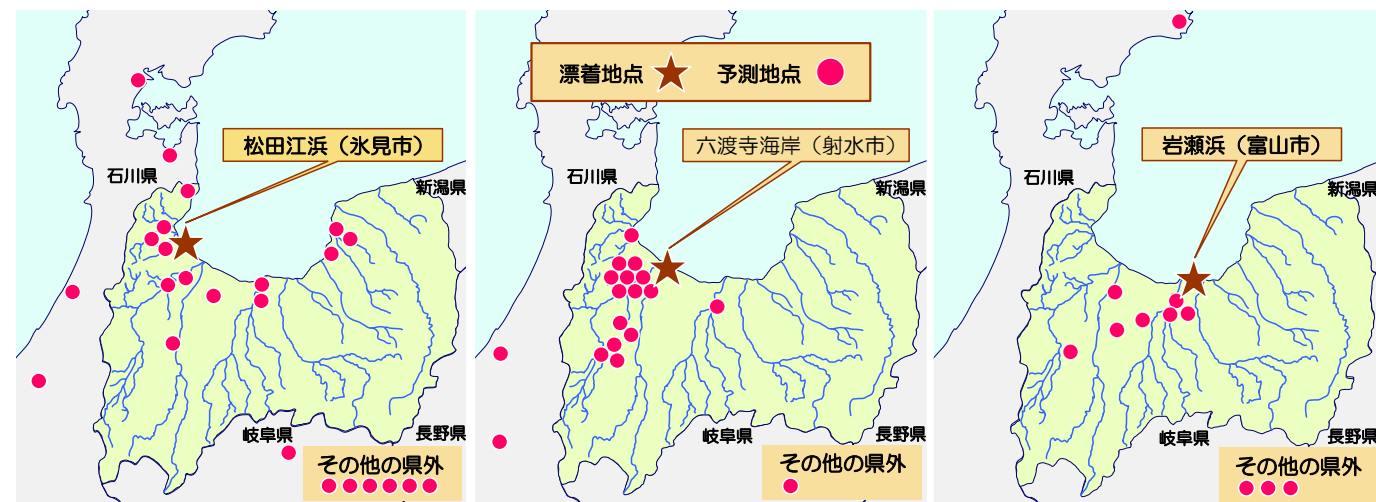
調査2 河川から流出したごみの行き先は？

【調査概要】 小矢部川をモデルに、河口から発信機付きのボトル8個を海に流し、行き先を調査しました。
（調査期間：平成 24 年 2 月）



調査3 富山県の漂着ごみはどこから流れてきている？

【調査概要】 富山県内（3海岸）の砂浜に漂着しているライターを回収し、ライターに書いてあるお店の名前・住所・電話番号等から、そのライターがどこから流れてきたのかを推定しました。
（調査期間：平成 24 年 1 月～12 月）

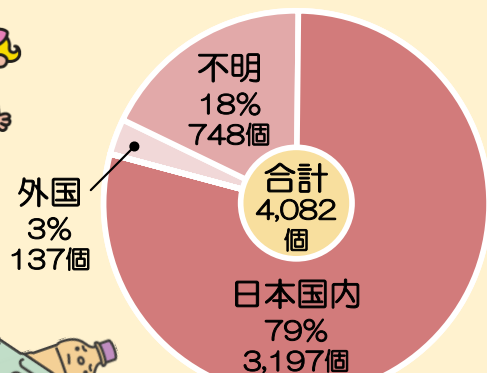


コラム

Q：漂着ごみは外国からも流れてくるの？

A：砂浜に漂着しているペットボトルを回収し、ラベルの住所や形状から流れてきた国を予測すると、不明なものを除き、79%が日本国内から、3%が外国から流れ着いたものであるということがわかりました。

（調査海岸：松田江浜（氷見市）・六渡寺海岸（射水市）・岩瀬浜（富山市））
（調査期間：平成 24 年 1 月～12 月）



富山県内の漂着ごみを減らすためには、川の流れを通じて海に流れ出ている私達の生活ごみを減らすことが必要です！

